

第9期自立支援・重度化防止に資する取組の進捗管理

成果指標と結果		令和5年	令和8年																																																													
運動器機能の低下傾向にある高齢者の割合	男性	7.3%																																																														
	女性	7.3%																																																														
現状と課題																																																																
令和5年10月1日時点の本市の高齢化率は29.9%であり、全ての団塊の世代が後期高齢者（75歳以上）となる2025（令和7）年には30%を超えることが見込まれている。また、要介護認定率においては現在17.5%と、年々上昇傾向にある。 介護保険の基本理念である「高齢者の自立支援」と「介護予防」を普及・啓発していくことが必要である。特に、地域における介護予防の拠点である「通いの場」の役割はますます重要となっており、多くの市民がフレイル予防に取り組めるよう介護予防事業を推進していく必要がある。																																																																
第9期における具体的な取組																																																																
介護予防教室などを通じて介護予防に関する知識の普及・啓発を行い、継続的に介護予防に取り組める地域づくりを推進するため、通いの場の担い手となる介護予防サポーターの育成や、地域リハビリテーション活動支援として、専門職が通いの場への技術的支援を行い介護予防活動の拠点としての機能強化を図る。																																																																
<table><tr><th rowspan="2">事業の目標と実績（事業内容、指標等）</th><th colspan="3">第9期目標</th><th colspan="2">第9期実績</th></tr><tr><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th><th>令和8年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr><tr><td colspan="6">介護予防教室</td></tr><tr><td>開催回数</td><td>175</td><td>175</td><td>175</td><td>177</td><td>141</td></tr><tr><td colspan="6">地域リハビリテーション活動支援事業</td></tr><tr><td>支援回数</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td><td>16</td><td>33</td></tr><tr><td colspan="6">通いの場</td></tr><tr><td>登録団体数</td><td>44</td><td>45</td><td>46</td><td>40</td><td>37</td></tr><tr><td>参加実人数（65歳以上）</td><td>755</td><td>770</td><td>775</td><td>671</td><td>651</td></tr><tr><td>参加実人数／高齢者人口（％）</td><td>3.4</td><td>3.5</td><td>3.5</td><td>3.0</td><td>2.9</td></tr></table>						事業の目標と実績（事業内容、指標等）	第9期目標			第9期実績		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和6年度	令和7年度	介護予防教室						開催回数	175	175	175	177	141	地域リハビリテーション活動支援事業						支援回数	14	14	14	16	33	通いの場						登録団体数	44	45	46	40	37	参加実人数（65歳以上）	755	770	775	671	651	参加実人数／高齢者人口（％）	3.4	3.5	3.5	3.0	2.9
事業の目標と実績（事業内容、指標等）	第9期目標			第9期実績																																																												
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和6年度	令和7年度																																																											
介護予防教室																																																																
開催回数	175	175	175	177	141																																																											
地域リハビリテーション活動支援事業																																																																
支援回数	14	14	14	16	33																																																											
通いの場																																																																
登録団体数	44	45	46	40	37																																																											
参加実人数（65歳以上）	755	770	775	671	651																																																											
参加実人数／高齢者人口（％）	3.4	3.5	3.5	3.0	2.9																																																											
実施内容																																																																
・地域リハビリテーション活動支援事業として、通いの場の参加者を対象に運動指導・体力測定を実施し、握力や歩行機能を反映するTUGの数値の比較を行った。 ・InBodyと血管年齢測定器を使用した看護師による測定会を実施し結果に応じた個別指導および介護予防教室の普及啓発を実施。 ・介護予防講演会「“楽しい運動”で地域をまるごと健康に。」を1回実施。																																																																
評価																																																																
介護予防教室においては、実施回数が減少し目標回数を下回る結果となった。一方、地域リハビリテーション活動支援事業においては関係機関との調整を図り、目標回数を上回った。 しかしながら、通いの場の団体数および参加者数については、構成員の高齢化などを理由とした解散・活動縮小が見られ、減少傾向にある。																																																																
課題と今後の取組																																																																
介護予防教室の見直しや拡充を図るとともに、地域リハビリテーション広域支援センターや保健事業との一体化事業においても連携を強化し、通いの場の維持・拡充に向けた取組を推進していく。 担い手となる介護予防サポーターの育成及び介護支援ボランティアの活動を支援し、高齢者の社会参加を通じた身近な地域での介護予防活動への切れ目のない支援を行っていく必要がある。																																																																